

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成31年4月4日(2019.4.4)

【公表番号】特表2018-520447(P2018-520447A)

【公表日】平成30年7月26日(2018.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2018-028

【出願番号】特願2018-501860(P2018-501860)

【国際特許分類】

G 06 Q 20/38 (2012.01)

【F I】

G 06 Q 20/38 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月22日(2019.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

データセキュリティの分野において、トークン化は、一般に、実際のデータ要素が、一般にトークンと呼ばれる代理または代用物で置き換えられるプロセスを指す。一般に、実際のデータ要素の値を秘密に保つか、または、特定の選択されたエンティティへの限定されたアクセスのみを提供することが望ましい。従来、トークン自体の値には、具体的なまたは容易に特定可能な意味がない。むしろ、トークンは単にトークン化システムを介した実際のデータに相關する参照または識別子に過ぎない。通常、トークン化システムへのアクセスがない場合、トークンから実際のデータ要素の値を容易に決定したり、取得したりすることはできない。

この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては、以下のものがある（国際出願日以降国際段階で引用された文献及び他国に国内移行した際に引用された文献を含む）。

(先行技術文献)

(特許文献)

(特許文献1) 米国特許出願公開第2012/005038号明細書

(特許文献2) 米国特許出願公開第2014/108172号明細書

(特許文献3) 米国特許出願公開第2015/161596号明細書

(特許文献4) 米国特許出願公開第2015/199689号明細書